

赤れんが

ブラウンハイム自治会
会報 第75号
発行日▷平成10年10月
発行責任▷三瀬光一



防災について



防火防犯部 天明 仁

“災害は忘れたころにやってくる”と言われます。日頃から災害に対する備えを万全にして、いざと言うときに適切な行動が取れるよう一人ひとりが防災意識を高め、家庭や地域の防災対策を考えましょう。

ここで改めて災害が発生したときの避難場所を確認しておきます。

◎避難場所：並木第二小学校

食糧、水、救援物資等の配布、家族の安否確認や生活情報の提供場所。

◎広域避難場所：富岡総合公園・長浜公園

大地震などにより、大規模な災害が発生した場合に、炎や煙、熱風などから身をを守るための場所。

※私たちの地域は特に広域避難場所は指定されていない任意避難地域になっています。任意避難地域とは、住民の判断による避難行動で生命の安全が確認されている地域です。

◎災害時の注意事項

危ないと思ったら早めに避難！必ず歩いて避難しましょう。また、単独行動は危険を伴うことがあるので、隣近所に声をかけあい、子供やお年寄り、障害のある方などの手助けをしましょう。

◎地震発生時の措置三原則

- 1、その場にあった身の安全
- 2、すばやく火の始末
- 3、となり近所の助け合い

※阪神淡路大震災では、地域ぐるみの消火活動や炊き出しなど地域の助け合いの大切さが改めてわかりました。みんなで協力して自分達の町は自分達で守りましょう。

十一月二十九日は
自治会防災訓練の日です。シュミレーションすれば
憂いなし！積極的な参加をお待ち
しています。

文化部の催しに 参加しませんか

文化部 大輪 良子

雨で延び参加者六名と残念でしたが六月四日、江戸城歴史散策と題し、皇居外苑から東宮御所と廻り、当時の建物や生活の様子などを林先生から説明して頂き、有意義な一日をすごすことができました。次回は十月に手芸の講習会を考えています。沢山の方の参加をお願いします。

ボーリング大会

青少年部 江口 洋子

六月二十一日(日) 体育部・青少年部共催によるボーリング大会を行いました。子供十三名、大人十九名の方が参加され、三瀬会長の始球式でゲームが始まりました。日頃の練習成果を出す人、?年ぶりの人、そして初めての人、それぞれ全力を尽くして頑張り、ストライクやスペアが出るという興奮と拍手が起こり笑顔がいっぱいでした。応援する役員六名も皆さんと一緒に楽しい一日を過ごすことができました。

●ゲームの結果

- 子供の部
- 一位 佐野たかふみ君
 - 二位 成瀬けんた君
 - 三位 成瀬さおりちゃん
- 大人の部
- 一位 鶴嶋武さん
 - 二位 三橋和子さん
 - 三位 尾淵浩一さん



気分はすっかり大河ドラマ



あれっ！ファミコンよりもズかしいゾ

なつまつりをおへて

実行委員長 加藤 武

ブラウンハイム恒例のなつまつりが連合自治会の「シーサイドサマーフェスタ」に合わせて八月一日二日の二日間盛大に行われました。

八月一日二日の夜店では、ブラウンハイム名物のコリントゲームが、今年は商品に趣向を凝らした為、二日間でも早々に売り切れるという大人気でした。

八月二日の朝、二基のおみこしと曳き太鼓の巡幸によって始まったブラウンハイムの祭りは、和歌山のヒ素カレー中毒の直後の祭りにもかかわらず、大人、子供合わせて百人以上が参加して、にぎやかな楽しい祭りとなりました。ビンゴゲームでは子供達の歓声が沸き、フランクフルトと新アイテムのジャガバターに舌鼓を打って楽しく一日を終えました。

ブラウンハイムも築後二十年経ち、老齢化が進み、年々子供達が少なくなってきたといわれていますが、二十年前に比べ40%、十年前に比べ25%の世帯が新しく若い世代に代って来ています。

祭りを通じて新しいお仲間と良いコミュニケーションがとれれば、阪神大震災の様な大災害の時、お互い助け合いができる団地になっていくことでしょう。

自治会では十一月の防災訓練、十二月に餅つき大会を予定していますが、これらの行事に多くの住民が参加し、相互理解、親睦が計れる様のぞみます。



ゴミ ÷ 分別 = リサイクル

！新しい回収方法（6月から）は覚え了吗か

自治会独自部分

◎毎月第二水曜日朝（階段下）

- ・新聞、雑誌、ダンボール
古着▷各々まとめておく。
- ・アルミ缶▷洗って潰して
透明なビニール袋へ。
食物、飲み物の容器に
限る。



市環境事業局分

◎毎集金曜日朝（ゴミコンテナ脇）

- ・空きビン、スチール缶
▷洗って透明なビニール袋
へ一緒に、食物、飲み物
の容器に限る。ビンの
色分けはしない。



☆その他の小金属類・ガラス類・陶器類について☆

- ・毎週金曜日朝回収。ごみコンテナ脇に出してください。
- ・破損していない物は、丈夫で無色透明なビニールの袋に入れ、中身がわかるようにしてください。
- ・刃物・破損物など危険な物は、嚴重に包装したうえ内容を明記してください。
- ・30cm角以上のものは粗大ごみの扱いとなります。

